

天降った石船神の里に集う

ふるさと塾茶話会 香我美町東川地区

7月7日(土)七夕の神様が祭られている香我美町東川の石船神社を土佐史研究家の広谷喜十郎さんが訪れ、地元住民ら約40人と学習会を行いました。

石船神社は石の船が空を飛び、熊野神社からこの地に鎮座したと言い伝えられており、参加した住民らは日ごろ気になっていた神社や周辺史跡への質問をしていました。広谷さんは「七夕神社という別名があるのは、奈良や京都ならまだしも高知ではここだけ、ほんとに珍しく貴重な神社」と話していました。



よっ！待ってました

弁天座落成式典



7月7日(土)赤岡町にある多目的文化施設「弁天座」の落成式典に関係者や市民、約200人が参加し盛大に行われました。式典では^{かみいり}祥姿の仙頭市長が「せり」で登壇。「皆さんに愛され育てられ、絵金蔵とともに文化発信の拠点に...」と「口上」を述べ、地元「絵金歌舞伎傳承会」が落成の舞として浄瑠璃式三番叟を披露しました。赤岡小学校ではもち投げも行われ、弁天座に建ち並んだ祝いののぼり旗や、七夕の笹飾りなど、にぎやかな祝いのムードに包まれていました。

明るい地域社会をめざして！

社会を明るくする運動



7月5日(木)第57回社会を明るくする運動」と「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」の関連行事として街頭パレードが行われました。香南保護区保護司会をはじめ、日ごろから更生保護事業に取り組む団体・関係機関より約80人が参加し、市役所本庁前で出発式を行いました。その後、街頭パレードをフジグラン野市まで行い、チラシなどを配布しながら「ふれあいと対話のある明るい香南市をつくりましょう！」と声をかけていました。

いつも配りゆうきね

地域の見守り活動協定書 調印式

7月2日(月)市役所本庁で、市内5カ所の高知新聞の販売所が新聞と一緒に気配りをしよう「地域の見守り活動協定書」に調印しました。この協定は、新聞配達の人たちに毎日の仕事の中で気付いた新聞がたまっているなどの異変を報告してもらうことで、地域のつながりを密にしようというものです。それにより連絡を受けた担当地区の民生児童委員が確認するなど、住み慣れた地域でだれもが安心して暮らしていけることを目指しています。



海に感謝！みんなで遊ぼう！

マリンフェスティバルYASU 2007

7月16日(月)ヤ・シィパークで「マリンフェスティバルYASU」が開催されました。約1万人でにぎわう会場では、「シーフードレストラン」での食事や「ギネスに挑戦！ビーチサンダル飛ばし」などで楽しみました。「砂浜鉄人ポートルース」では、激戦を勝ち抜いた香南消防の「DA・POMP」チームが優勝。

香南市のイメージガールを決める「ミスマーメイドコンテスト」では14人の候補者が自分のことや香南市の魅力をアピール。大声が特技の荒木妙子さん(高知市)が今年のマーメイドに選ばれました。これから2年間イベントなどに参加し、香南市のPR活動を行ってまいります。

中央が今年ミスマーメイドに輝いた荒木妙子さん。左側が前年のマーメイド大西淳子さん。右側の津田佳奈さんは今年で引退です。



海の王子様、お姫様を決める「みちゅマーメイドコンテスト」では、小学生までの子どもたちが元気に自己紹介しました。また、ステージでは地元のフラダンスサークルや香我美小学校のピックバンド、安田のふるさとシンガーの豆電球さんと夜須の愛ちゃんの歌など、盛りだくさんのイベントを来場した観客たちは楽しみました。



豆電球さんと愛ちゃんの友情ライブ



クラブ員を代表してあいさつする香我美小学校6年の川崎真哉くん

また、この日は夜須町に発足した「YASU海洋クラブ」にB&G財団より、6人乗りヨットと4人乗り救助艇、救命胴衣10着が無償貸与され、その配備式が行われました。関係者は、「これらの船艇を使って多くの人にマリンスポーツを楽しんでもらいたい」と、呼びかけました。

海辺で楽しもう！

ALT・CIR国際交流イベント

7月8日(日)香南市マリンスポーツ施設「シースポ」で、8月には帰国する、市の国際交流員(CIR)と外国語指導助手(ALT)の最後のイベントが開催されました。

「YASU海の駅クラブ」などの協力で、市内の子どもや親子連れ約50人が参加し、海ではシーカヤックやボートなど、浜辺ではスイカ割りやビーチフラッグなどを楽しみました。ALTらは、「香南市に来て本当に楽しかった。皆さんには、お世話になりました」と、最後のイベントを満喫していました。

